

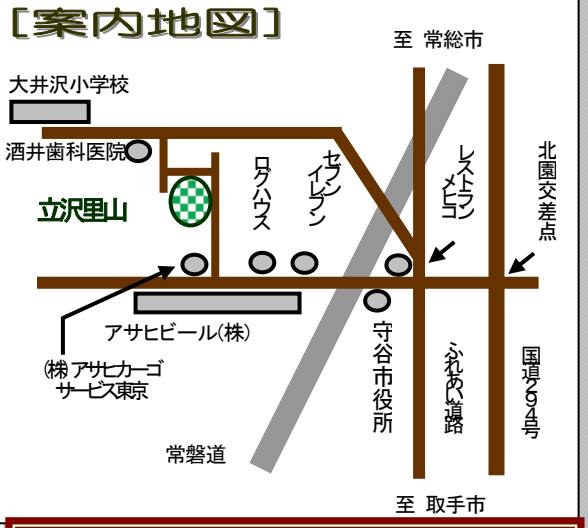
平成23年4月23日

立沢里山

里山新聞 第22号

発行：立沢里山の会 代表 鈴木 榮
 問い合わせ先：事務担当
 須賀（守谷市役所内 45-111 内線 351）
 立沢里山ホームページ
<http://www.geocities.jp/tatuzawasatoyama/>

ボランティア募集
 あなたも一緒に楽しみましょう！



「立沢里山新聞」の記事をお願いします
denen21@hb.tpl.jp 清野

- ～目次～
- 1 菅生沼で野焼き
 - 2 総会と平成23年事業計画
 - 3 看板を改築しました
 - 4 東日本大震災について
 - 5 竹林整備、炭焼き

1 菅生沼で野焼き

県自然博物館の主催による野焼きが1月23日(日)に行われ、立沢里山の会からも数名が参加してきました。

野焼き場所は菅生沼に囲まれた一角で、幸い当日を含めてこの数日天気恵まれ、午前9時に手前の橋の下に集合しました。数年前に比べると参加団体、人数も格段に増えて、つくば大学、東大や周辺の里山の会などから鎌、刈り払い機などの資材を片手に約150名が参加しました。

女性や子供の参加も結構ありました。

自然博物館から挨拶と作業説明が行われた後に道路沿いの刈り払いなどで一時間ほど作業し、その後大学から野焼きの研究に関する経過、結果の報告説明がありました。

そしていよいよ11時頃に着火し緊張が走ります。今年は例年になく乾燥しており、途中から少し風も出てきて火の回りが早く、人間の急ぎ足程度のスピードでかなり迫力ある野焼きとなりました。湖で休憩していた白鳥も驚いて飛び立ちます。



数年前は火の着きが悪く、バーナーを片手にあちこちと走り回った記憶がありますが、今年は見事にきれいに焼けました。

5月になると「タチスミレ」の群落が観察でき、楽しみです。



2 総会と平成23年事業計画

1月22日(土)午後10時半から市民交流プラザ会議室において「立沢里山の会」の定例総会を行いました。

会長挨拶に加え、森崎さんご逝去に伴い、会として香料と感謝状（森崎さんの写った活動記録写真付）を送ったことの報告がありました。

続いて平成22年度の実績報告、監査報告を踏まえて会計報告についても承認を得ました。

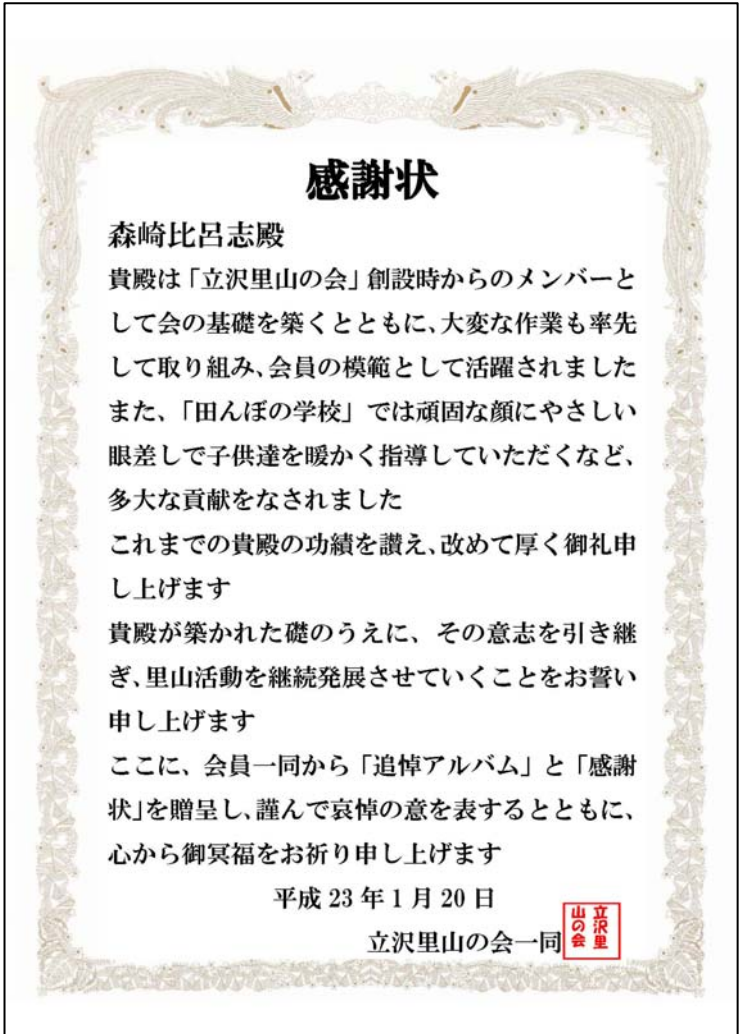
※ 補足説明として、現在約50万円の活動資金があるが、北守谷まつり参加のための材料費等で約25万円が必要であることから、常に25～30万円は準備金として確保し、実際に余裕のある予算は、差額の20万円とのことであった。

次に平成23～25年度役員については現役員全員の再任で決定しました。また平成23年度活動計画についても資料内容のとおり承認を得ました。

定例作業日は毎月第4土曜日の9：00～とする。（1月、8月、12月は除く。）なお、4月、7月、10月定例作業日の午後を定例会議日として設定する。

特別事業については

- 1) 炭焼き：今後の予定等の説明を受ける。定例作業日2/26が竹割り、3/26が窯への搬入を行い、4月上旬に火入れを行うとのこと。
 - 2) 木道補修：10周年記念事業による来客の増加も視野に入れ、本格的な修繕を行うこととする。修繕方法については、知り合い会社からの樹脂系パネルの譲り受けや、木材丸太の加工等も含め、いろいろな方法を検討することとした。
 - 3) 10周年記念事業について： 時期は今年の春から来年（市制10周年記念事業を考慮）を想定した期間とする提案があった。内容については、前回の里山祭りの出し物をたたき台に検討することとした。実施方法は、前回のような1日集中型の祭り形式ではなく、何日かに分散（例えば定例作業日ごとに、今回はザリガニ釣り大会、田植え体験会というような実施方法など）する方式とした。
- その他、次のような意見が出された。
- 今後の立沢里山の基本方針として、水を生かした湿地とする方向がよいと考える。今後、奥側の整備として、除草を行い、水を回し、湿地とする作業を進めてはどうか。
 - 今後10年間の見通しとして、どのような方向性とするか。田植え、稲刈り等の作業を継続するのであれば、会員の若返りを図る必要があるのではないか。その手立て（新規会員等の確保）が必要と考える。
- ※この意見に対し、新規会員の確保のため、一層の情報発信が必要で広報活動、関係団体などへ働きかけることとした。



平成23年 立沢里山の会 事業計画

月・日・時間等	活動内容	区分
1/22(土)10:30~	立沢里山の会総会	会員
2/26(土)9:00~	竹加工作業	会員
3/26(土)9:00~	竹運搬	会員
4/9(土)9:00~ 4/15(金)	窯詰め込み、火入れ、竹酢液回収	会員等(自然博物館内炭窯)
4/23(土)9:00~ 13:00~	田んぼの準備、筍採り 定例打ち合わせ	会員、学校等
5/14(土)9:00~	田んぼ代かき等	会員、学校等
5/19(木)9:00~	田植え	小学校児童
6/25(土)9:00~	田んぼ除草等	会員、学校等
7/23(土)9:00~13:00	除草、ゴミ収集、定例打ち合わせ	会員、学校等
8/20(土) 21(日)	北守谷まつりバザー参加	会員等(立沢公園)
9/10(土)09:00~	おだ作り、稲刈り準備等	会員、学校等
9/12の週	稲刈り	小学校児童
9/下旬	脱穀、籾すり	会員等
10/22(土)9:00~13:00	おだ片付け等、定例打ち合わせ	会員等
10/22(土)18:00~	懇親会	会員
11/26(土)9:00~	竹林整備	会員等(立沢周辺竹林)

3 看板を改築しました

2月某日、ついに看板が倒れてしまいました。前回改築して二代目、昨年から老朽化が激しく予想はしていましたが、春一番のせいかあえなく倒壊です。ただ、支柱だけの損壊で看板本体にはまったく問題ありませんでした。

実は一昨年から同地の里山作業を支援に行った際に、しっかりと木材を入手して看板用に乾燥させていました。3月5日(土)の竹炭作業の後に、焚き火で火入れ、竹酢液、タールなどで防腐処理も行いフレームが完成しました。屋根も桧皮葺きで強化しました。後日、パンフレット箱も追加で設置する予定です。

早速据付作業に掛かったのですが、あえなく電動ドライバーのバッテリーが切れてしまい、最終は翌日の午後に持ち越し、何とか完成しました。

須賀事務局長が作成した初代の名盤は健在で三代目においてもしっかりと役割を果たしています。

須賀事務局長が作成した初代の名盤は健在で三代目においてもしっかりと役割を果たしています。



立沢里山の特徴
谷津田に2本の小川が流れる湿原、湿地にはクワ/ツ、ガマ、ミドリなどの希少種やマコ、ガマ、アサヒカ、水辺には古代畑、竹林、アサヒカなど、ハナジには美しい蝶ミドリジミ、夏は納涼も観られます。
湿田では御所が丘、松前台、大井沢小学校の稲作体験を実施

注意事項
里山は私有地ですが地主さんの協力により里山の会が管理しています。自由に入って魚採りなど遊んで結構ですが、左記注意事項を守りましょう！

- 1 外来種、園芸種などの動植物の持ち込み禁止
- 2 動植物や看板をむやみに傷つけられない
- 3 蜂、クモ、蛇、池の深みなど危険もいっぱい
- 4 よく考え、注意し、もしもの時は助け合いを

4 東日本大震災について

3月11日(金)午後2時46分東北太平洋沖を震源に大地震が発生しました。その後東北地方を中心として津波により甚大な被害がありました。

また、福島原発の事故も重なり、守谷にも「あすなろの里」を始め避難してきた人がいます。

立沢里山の会として昨年収穫した米、約30kgを寄付することにしました。

自然博物館もかなり被害を受けましたが、炭窯は幸い大きな被害はありませんでした。



5 竹林整備、炭焼き

今年の竹林作業は向山の海老原宅の屋敷林を行うことになりました。12月に二回に渡り伐採作業を行いました。乾燥状況を見て2月26日(土)3月5日(土)に小割、節取り、結束作業を行い、3月26日(土)に自然博物館に搬入しました。

当初は4月2日(土)の詰め込み予定でしたが、震

災の影響で一週間遅らせて9日(土)とし、12日(火)に火入れ、15日(金)に完全火止めを行いました。

